

iMatrix-511MG (生物由来原料基準適合)

Product No. 892 005 1,050 µg

Version 003
Store at 2-15 °C
Protect from light.

製品概要 ラミニン511は、細胞表面のインテグリン $\alpha 6\beta 1$ と結合することが知られております。本製品はラミニン511のインテグリン結合部位 (E8断片) を高純度に精製した製品です。

内容物 組換えヒトラミニン511-E8タンパク質

内容量 175 µg / tube (892 005: 6 tubes)

形状 液状品

濃度 0.5 mg/mL

溶媒 PBS(-)

製造方法 本製品は、CHO-S細胞 (Thermo Fisher Scientific社) により発現した組換えヒトラミニン511-E8タンパク質です。生物由来原料基準に適合していることを確認しております。

活性 インテグリン $\alpha 6\beta 1$ との結合活性が、解離定数10 nM以下を示します。

保存方法 遮光して2-15°Cで保存してください。

使用期限 製品は、上記保存方法にて保存し有効期限内にご使用ください。有効期限は、製造後2年間です。有効期限は外箱に記載しております。使用濃度への希釈は、使用の直前に行ってください。希釈後の溶液は速やかに使用してください。

用途 ES/iPS細胞をはじめとする様々な細胞の培養において培養基質として使用できます。

使用方法 1) iMatrix-511MGを、PBS(-)を用いて、培養器材をコーティングする濃度に希釈します。推奨コーティング濃度は、0.5 µg/cm²です。
※細胞の種類や株、使用する培地によってコーティングの最適量は変化しますので、初めてご使用の際は、0.5 µg/cm²からスタートして、コーティング条件の最適化を行ってください。
使用例) 6ウェルプレート (9.6 cm²/ウェル) の場合は、1ウェル当たり0.5 mg/mLのiMatrix-511MGを9.6 µLとPBS(-)を1.99 mL加えます (2.4 µg/mL, 2 mL/ウェル)。
※※ 希釈を行う際は素早く行ってください。チューブ等を使用して希釈を行う場合には、タンパク質低吸着処理の施されている器材をご使用いただくことを推奨いたします。
2) 37 °C 1時間または室温3時間または4 °C 一晚の静置を行いiMatrix-511MGをコーティングします。
3) コーティング後は、iMatrix-511MG溶液を除去し、乾燥させずに、速やかに細胞を播種します。
※ コーティング後の培養器材を乾燥させないように注意してください。

使用上の注意 使用の前に必ずスピンドウンをしてから蓋を開けてください。凍結融解は避けてください。コーティング後は、速やかにご使用下さい。

販売元 株式会社マトリクソーム
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘3番2号
大阪大学蛋白質研究所共同研究拠点棟
電話: 06-6877-0222 FAX: 06-6877-0002
Eメールアドレス info@matrixome.co.jp

参考文献 Ido H et al. J Biol Chem. 282 (15): 11144-54, 2007
Taniguchi Y et al. J Biol Chem. 284 (12): 7820-31, 2009
Miyazaki T et al. Nat Commun. 3: 1236, 2012
Nakagawa M et al. Sci Rep. 4: 3594, 2014
Doi D et al. Stem Cell Reports. 2(3): 337-50, 2014
Takashima Y et al. Cell. 158 (6): 1254-69, 2014
Fukuta M et al. PLoS One. 9 (12): e112291, 2014
Burrige PW et al. Nat Methods. 11 (8): 855-60, 2014
Okumura N et al. Invest Ophthalmol Vis Sci. 56 (5): 2933-42, 2015
Sasaki K et al. Cell Stem Cell. 17 (2): 178-94, 2015
Samata B et al. Nat Commun. 7: 13097, 2016
Hayashi R et al. Nature. 531 (7594): 376-80, 2016
Matsuno K et al. Differentiation. 92 (5): 281-90, 2016
Nishimura K et al. Stem Cell Reports. 6 (4): 511-24, 2016
Takayama K et al. Biochem Biophys Res Commun. 474 (1): 91-96, 2016
Ishikawa T et al. Hum Mol Genet. 25 (23): 5188-5197, 2016
Goparaju SK et al. Sci Rep. 7:42367, 2017
Miyazaki T et al. Sci Rep. 7: 41165, 2017
Hayashi R et al. Nat Protoc. 12 (4): 683-96, 2017
Kikuchi T et al. J Neurosci Res. 95 (9):1829-37, 2017
Musah S et al. Nat Biomed Eng. 1: 0069, 2017
Camp JG et al. Nature. 546 (7659): 533-38, 2017
Ishii K et al. Stem Cell Reports (10): 1-15, 2018
Ishida K et al. Sci Rep. 8 (1): 310, 2018

注意 誤って吸飲したり、目に入った場合には、速やかに洗浄し医師の診察を受けて下さい。本品は医薬品ではありません。

製造元 株式会社ニッピ
バイオ・ケミカル事業部
〒120-8601 東京都足立区千住緑町1-1-1